

フォーマット変換ツール

操作説明書

平成 29 年 12 月

厚生労働省保険局調査課

目次

1	フォーマット変換ツールについて	1
1-1	概要	1
1-1-1	はじめに	1
1-1-2	本ホームページ上よりダウンロードできるものについて	1
1-2	磁気媒体の提出作業の流れ	2
2	作業手順詳細	3
3	フォーマット変換ツールの導入と削除	4
3-1	稼動条件	4
3-2	フォーマット変換ツールの導入について（ZIP形式）	4
3-3	フォーマット変換ツールの削除について	5
3-4	フォーマット変換ツールの起動と終了	6
3-4-1	起動	6
3-4-2	終了	7
4	報告データ作成	8
4-1	フォーマット変換ツール画面の説明	8
4-2	報告データを作成する	9
4-2-1	作成準備	9
4-2-2	単一支部、複数支部の選択	11
4-2-3	読み込みフォルダの選択	11
4-2-4	出力フォルダの選択	14
4-2-5	審査年月の選択	16
4-2-6	分割サイズの選択	17
4-2-7	変換	18
4-2-8	報告データ、処理結果、エラー一覧ファイル	22
4-2-9	異常終了	23
5	参考情報「エラーチェック一覧」	25

1 フォーマット変換ツールについて

1-1 概要

1-1-1 はじめに

本ツールは社会保険診療報酬支払基金が行っているレセプト電子データ提供のテキストデータを入力データとし、磁気媒体にて調査課に提出する『報告データ』を作成するものです。

※こちらのツールは独自システムをお持ちでなく、社会保険診療報酬支払基金が行っているレセプト電子データ提供のテキストデータをお持ちの保険者向けのツールとなります
独自システムにて被保険者証記号・番号が整理番号化されていない『報告データ』を作成している保険者につきましては『整理番号変換ツール』をご利用下さい

※平成30年度より本ツールは Ver4 のものをご使用下さい。

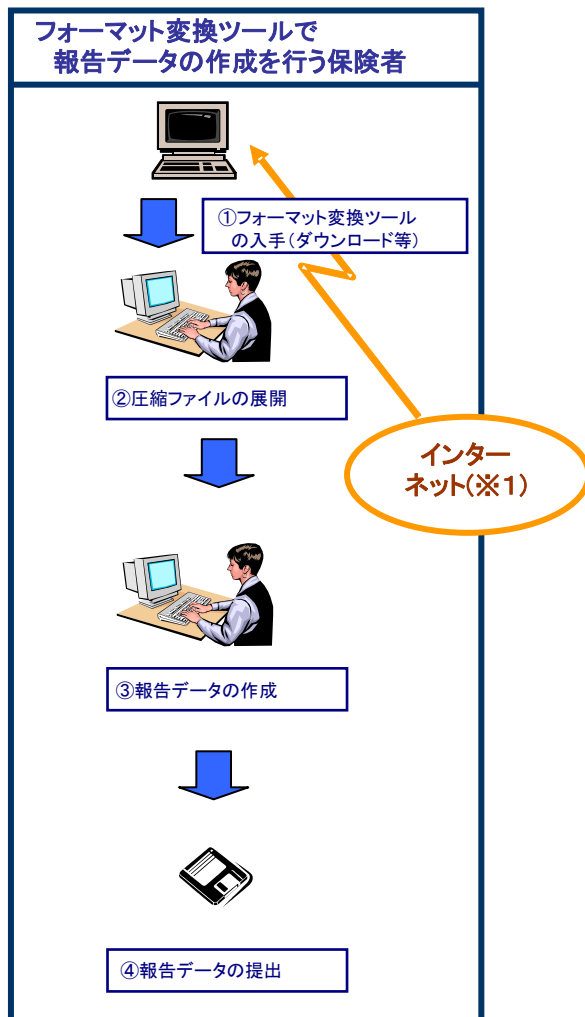
1-1-2 本ホームページ上よりダウンロードできるものについて

独自システムをお持ちでなく、社会保険診療報酬支払基金が行っているレセプト電子データ提供のテキストデータをお持ちの保険者向けに以下を用意しました。

1. フォーマット変換ツール (ZIP形式)
2. フォーマット変換ツール 操作説明書 (PDFファイル)

1-2 磁気媒体の提出作業の流れ

磁気媒体の提出作業フローは以下のとおりです。



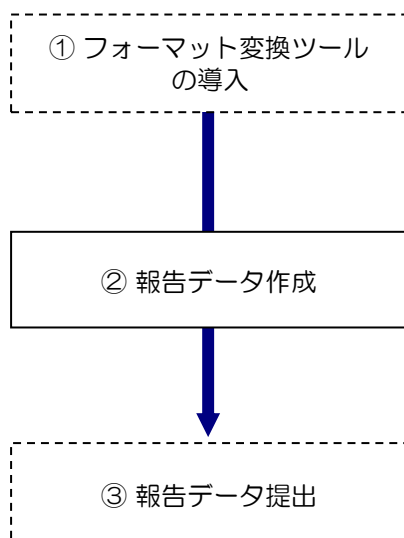
※1 厚生労働省・保険局のホームページに以下のものを掲載します。

- ・ フォーマット変換ツール
- ・ フォーマット変換ツール 操作説明書

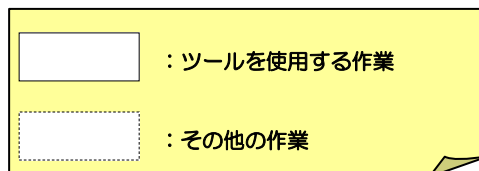
2 作業手順詳細

保険者は以下の作業手順で作業を行って下さい。

作業フロー



《作業内容の詳細》



- ①フォーマット変換ツールの導入
厚生労働省のホームページよりフォーマット変換ツールと操作説明書をダウンロードして下さい。作業を行うパソコンにフォーマット変換ツールを導入して下さい。
>> 3-2 フォーマット変換ツールの導入について（ZIP形式）
- ②報告データ作成
フォーマット変換ツールにて報告データを作成して下さい。
>> 4 報告データ作成
- ③報告データ提出
②で作成した報告データを電子申請もしくはDVD、CDまたはMOにコピーして、厚生労働省保険局調査課に提出して下さい。

3 フォーマット変換ツールの導入と削除

3-1 稼動条件

フォーマット変換ツールに必要なシステム稼動要件は以下の通りです。

システム	要件
CPU	インテル®Pentium®4 1GHz以上
メモリ	256MB以上
ディスク	100MB以上の空き容量があること
OS	Microsoft®Windows®Vista Microsoft®Windows®7 Microsoft®Windows®8 Microsoft®Windows®8.1 Microsoft®Windows®10 Microsoft®Windows®Server 2008

3-2 フォーマット変換ツールの導入について（ZIP形式）

パソコンにフォーマット変換ツールを導入する場合にはこちらの「ZIP形式」をダウンロードしてください。

- ① ホームページよりダウンロードしたファイル（FORMAT_HENKAN_Ver4.ZIP）を任意のフォルダへコピーします。
- ② 市販、フリーソフトとして提供されている解凍ソフトを用いて解凍して下さい。
※解凍ソフトの使用方法については、付属するマニュアル（Readme.txt 等）を参照下さい



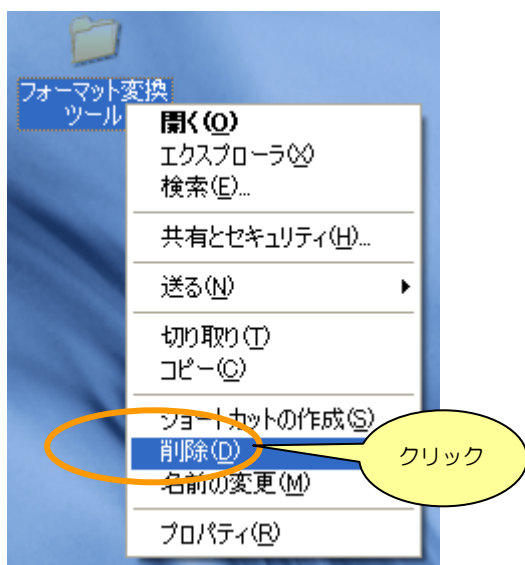
補足

※ 「3-1 稼動条件」に記載のOSの場合、標準にて解凍ソフトが付いております。

3-3 フォーマット変換ツールの削除について

フォーマット変換ツールを削除するには各々のフォルダを削除することとなります。
以下に削除の手順を示します。

- ① ZIP形式ファイルの解凍時に作成された「フォーマット変換ツール」フォルダを削除します。マウスを「フォーマット変換ツール」のところへ移動し、右クリックを押しプルダウンメニューより「削除(D)」を選択して下さい。



- ② 「Log」フォルダが以下に示す場所に作成されますので削除します。
C:\Users\[アカウント名]\AppData\Roaming\ReceiptConvert\Log



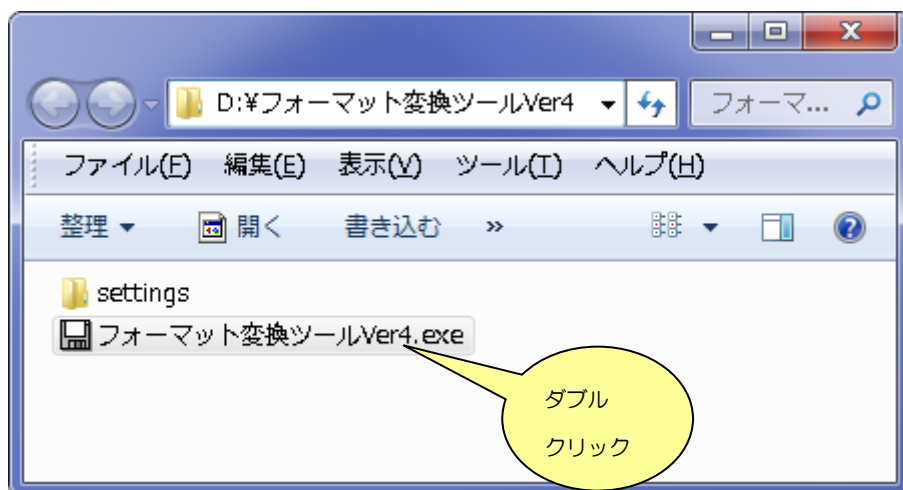
補足

※ [アカウント名]とは、フォーマット変換ツールを導入、使用しているユーザ名となります

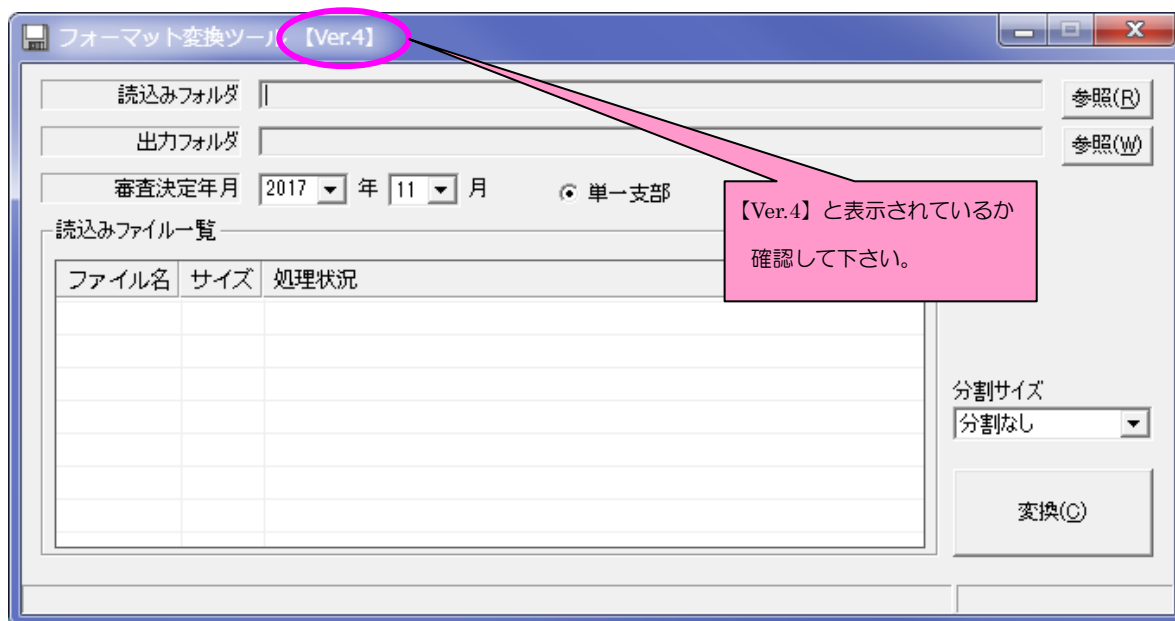
3-4 フォーマット変換ツールの起動と終了

3-4-1 起動


解凍した「フォーマット変換ツール Ver4」フォルダ内の「フォーマット変換ツール Ver4」をダブルクリックすると、

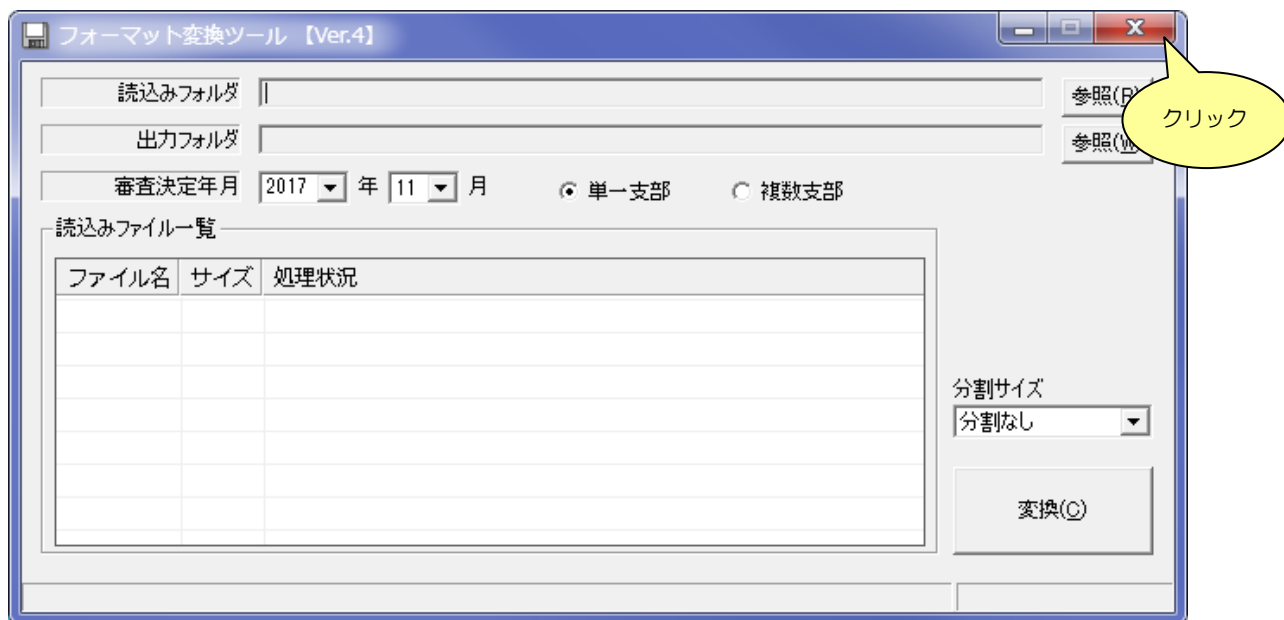


「フォーマット変換ツール」の画面が表示されます。

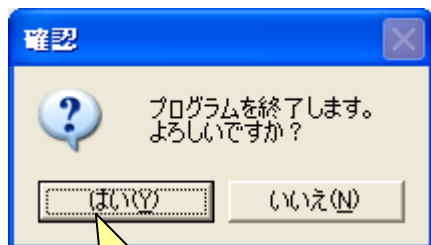


3-4-2 終了

「フォーマット変換ツール」画面の「」ボタンをクリックします。



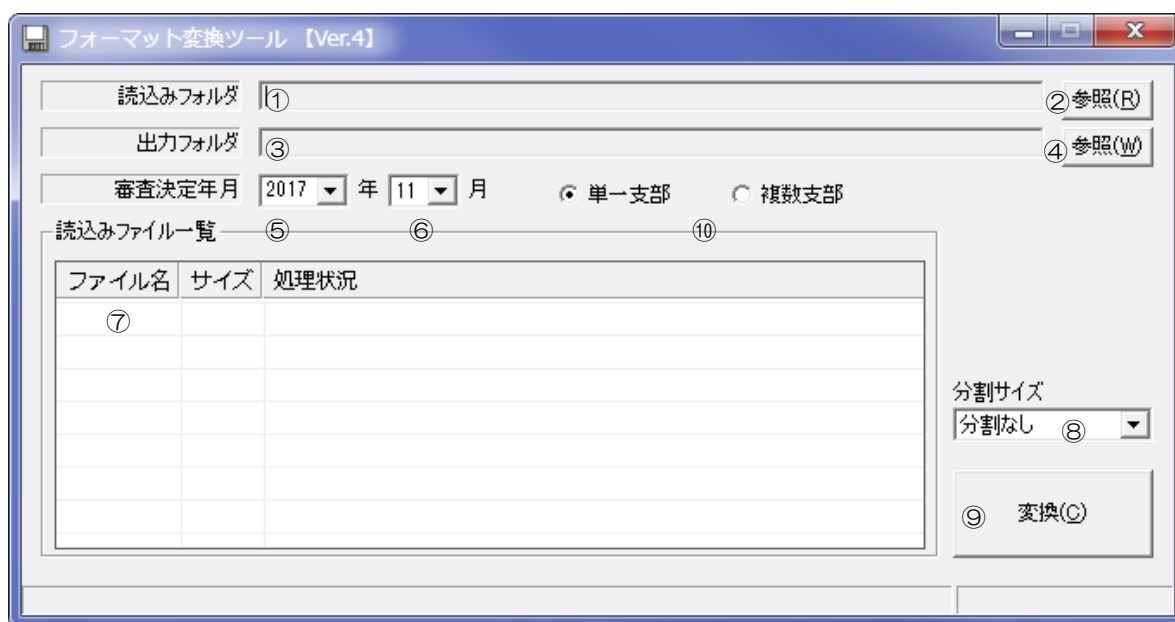
「確認」画面が表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックと、フォーマット変換ツールが終了します。



4 報告データ作成

ここでは、支払基金が提供するレセプト電子データをインプットとし、報告データを作成する手順について説明します。

4-1 フォーマット変換ツール画面の説明



【機能説明】

番号	項目名	項目説明
①	読み込みフォルダ	「参照(R)」ボタン押下時に表示される「フォルダの参照」画面にて選択したフォルダのパスが表示されます。
②	「参照(R)」ボタン	「フォルダの参照」画面が表示されます。
③	出力フォルダ	「参照(W)」ボタン押下時に表示される「フォルダの参照」画面にて選択したフォルダのパスが表示されます。
④	「参照(W)」ボタン	「フォルダの参照」画面が表示されます。
⑤	審査決定年	審査決定年を選択します。 ※直接入力も可能です ・半角数値のみ (数値以外が入力された場合、「変換(C)」ボタン押下時エラーとなります) ・最大入力文字数 = 4
⑥	審査決定月	審査決定月を選択します。
⑦	読み込みファイル一覧	読み込みフォルダにて指定された固有テキスト情報ファイル名、サイズ、変換処理時の処理状況を表示します。
⑧	分割サイズ	作成する報告データの分割サイズを選択します。
⑨	「変換(C)」ボタン	選択された固有テキスト情報ファイルをインプットとし、報告データを作成します。
⑩	単一支部複数支部選択	処理対象が単一支部か複数支部かを選択します。

4-2 報告データを作成する

4-2-1 作成準備

報告データを作成する前に、入力データを準備する必要があります。

① 単一支部の場合

入力データ(同一審査決定年月)となる下記ファイルを1つのフォルダに纏めて下さい。

- (ア) 00_INFORMATION.CSV
- (イ) 01_PECULIARTEXTINFO_MED.CSV
- (ウ) 02_PECULIARTEXTINFO_DPC.CSV
- (エ) 03_PECULIARTEXTINFO_DEN.CSV
- (オ) 04_PECULIARTEXTINFO_PHA.CSV

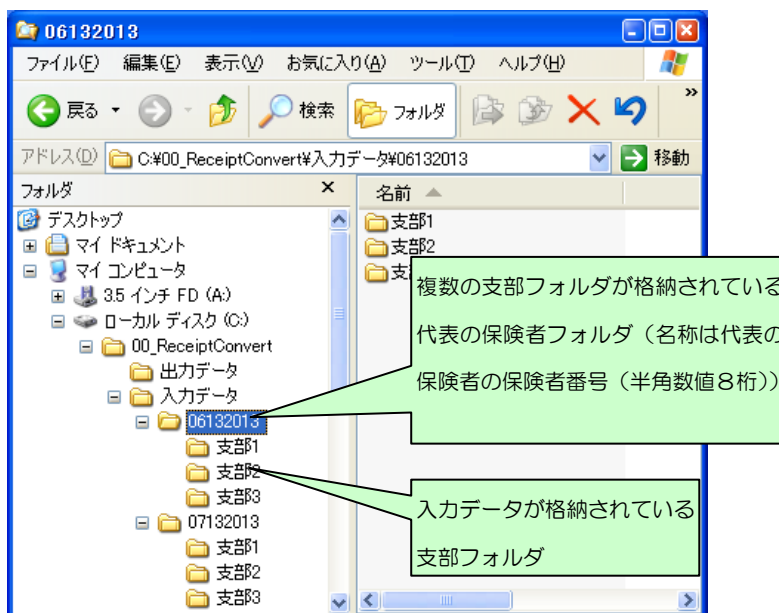


補足

- ※ (ア) 00_INFORMATION.CSV は必ず必要となるファイルです
- ※ (イ) ~ (オ) のうち少なくとも1ファイル必要となります
- ※ (イ) ~ (オ) がフォルダに存在しない場合は後続に示す 4-2-3 の処理にてエラーとなります

② 複数支部の場合

入力データ(同一審査決定年月)を纏めた支部フォルダ(上記①)を代表の保険者フォルダに格納してください。



補足

- ※ 代表保険者フォルダの名称は代表の保険者の保険者番号(半角数値8桁)としてください



注意

- ※ Excel を用いて入力データ（CSV データ）を編集する場合、Excel では「001」のような文字列を「1」という数値と認識し、前ゼロがすべて省略されてしまうので注意して下さい

4-2-2 単一支部、複数支部の選択

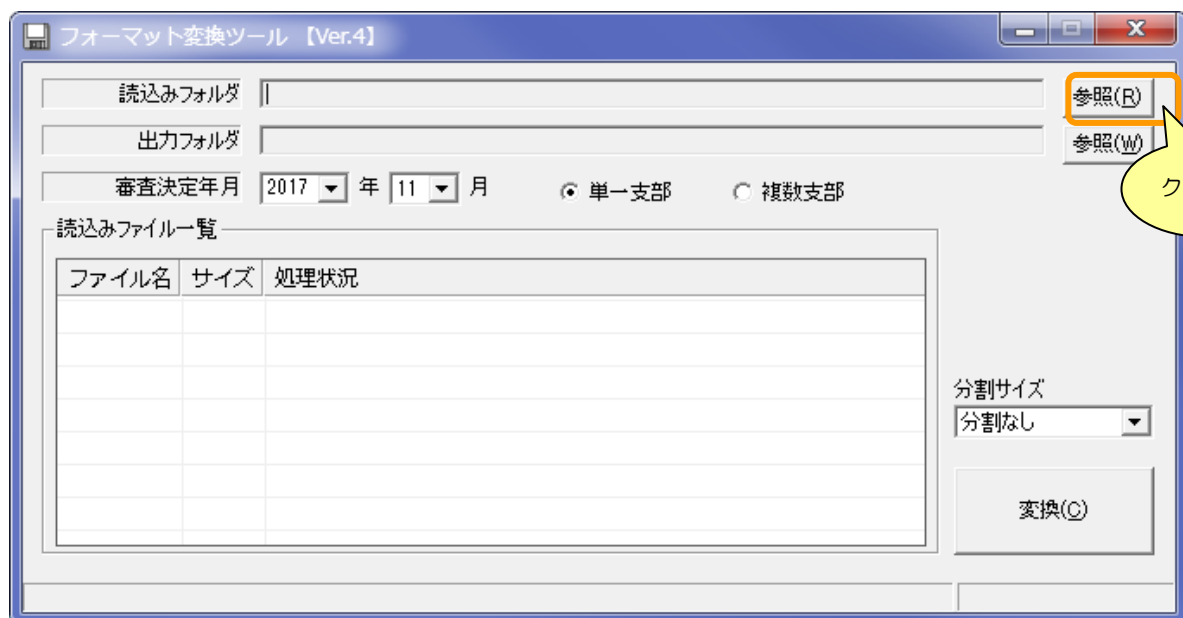
処理対象の支部が1つの場合、単一支部を選択してください。処理対象が複数支部ある場合には複数支部を選択してください。



4-2-3 読み込みフォルダの選択

処理対象となる固有テキスト情報ファイルが格納されているフォルダを選択します。

- ① 「参照(R)」ボタンをクリックして下さい。

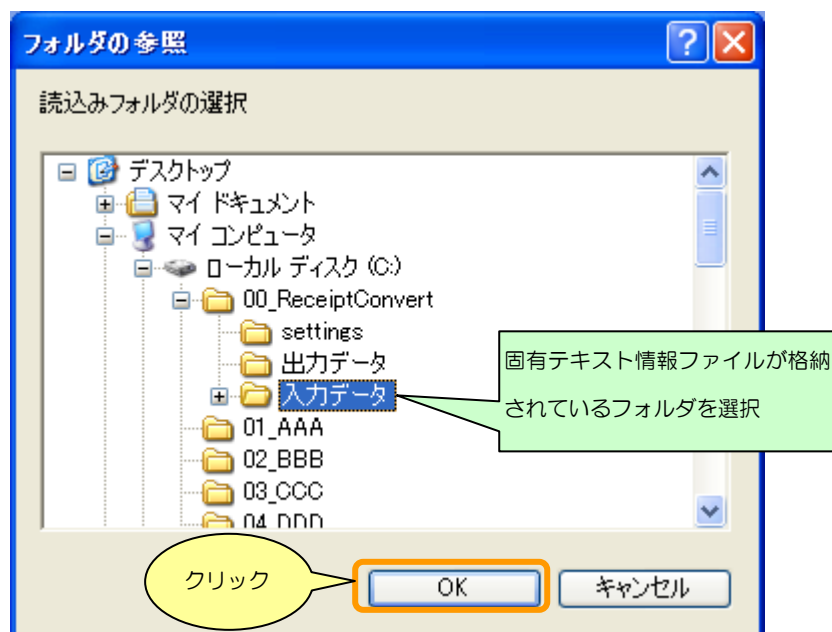


② 単一支部の場合

処理対象となる固有テキスト情報ファイルが格納されているフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックして下さい。

※ 「OK」ボタンをクリックすると「フォーマット変換ツール」画面に戻ります

※ 読み込みフォルダに指定したフォルダのパスが表示されます

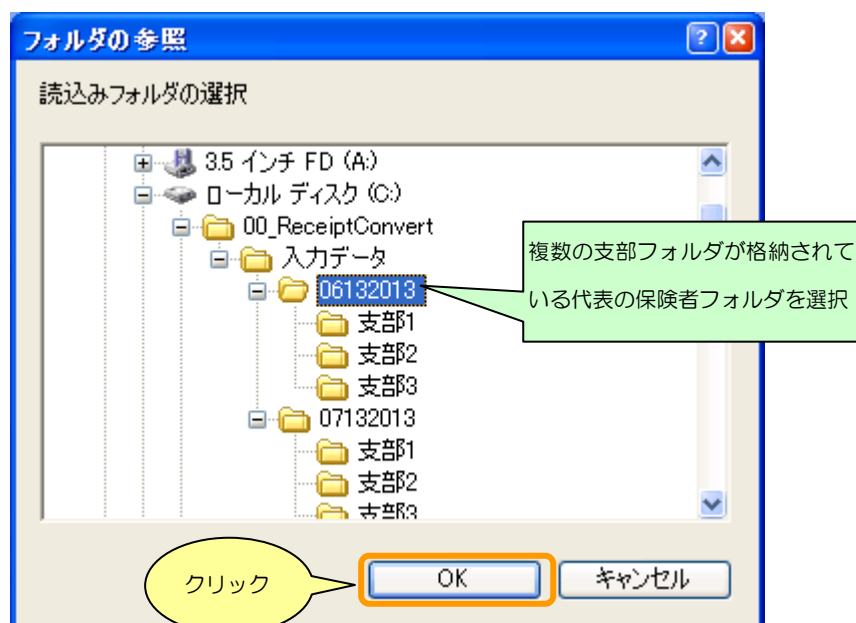


③ 複数支部の場合

処理対象となる代表の保険者フォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックして下さい。

※ 「OK」ボタンをクリックすると「フォーマット変換ツール」画面に戻ります

※ 読み込みフォルダに指定したフォルダのパスが表示されます





注意

※ 「フォルダの参照」画面にてフォルダを選択する際、4-2-1 の補足に記載しているように

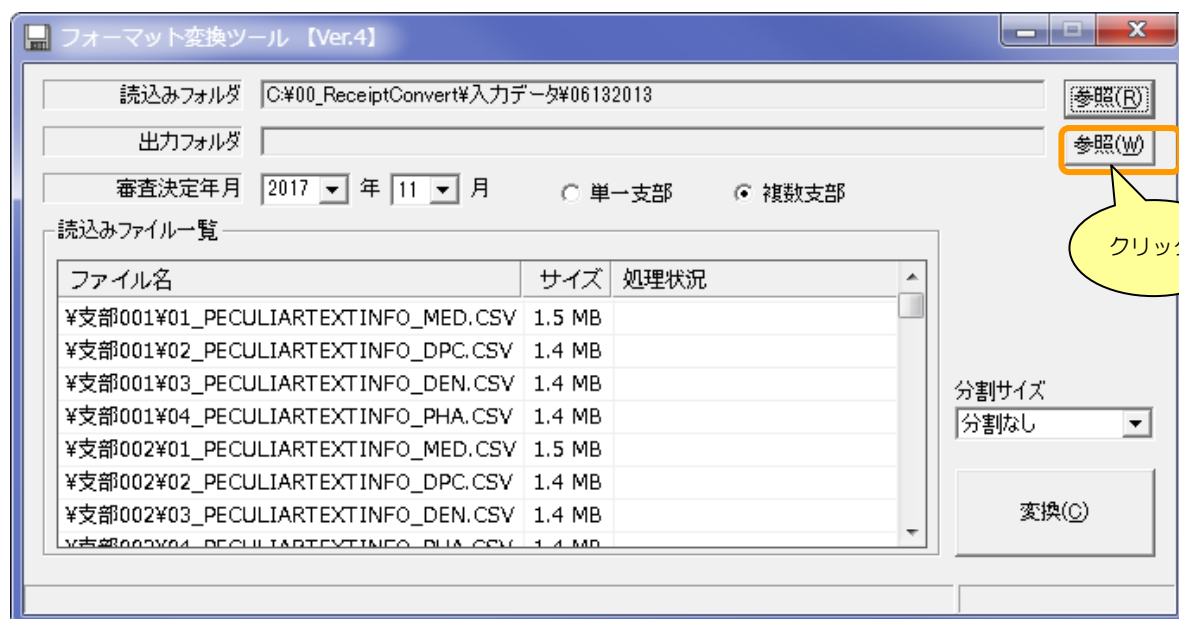
① OO_INFORMATION.CSV がフォルダに存在しない

② 固有テキスト情報ファイルが全て存在しない

場合、エラーメッセージが出力されます。事前に処理対象となるファイルを準備して下さい。

4-2-4 出力フォルダの選択

- ① 「参照(W)」ボタンをクリックして下さい。



補足

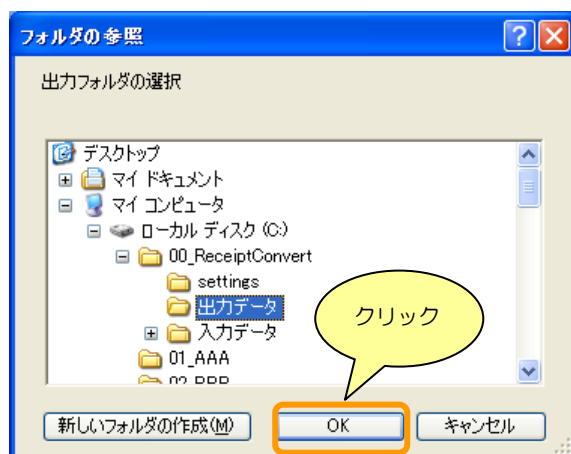
- ※ 読み込みファイル一覧に表示されるファイルは下記に示すCSVファイルのみとなります
それ以外のCSVファイルは表示されません

- ① 01_PECULIARTEXTINFO_MED.CSV
- ② 02_PECULIARTEXTINFO_DPC.CSV
- ③ 03_PECULIARTEXTINFO_DEN.CSV
- ④ 04_PECULIARTEXTINFO_PHA.CSV

- ② 作成される報告データを格納するフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックして下さい。

※ 「OK」ボタンをクリックすると「フォーマット変換ツール」画面に戻ります

※ 出力フォルダに指定したフォルダのパスが表示されます





補足

※ 出力先フォルダが存在しない場合は、「新しいフォルダの作成(M)」を押下し、フォルダを作成することができます



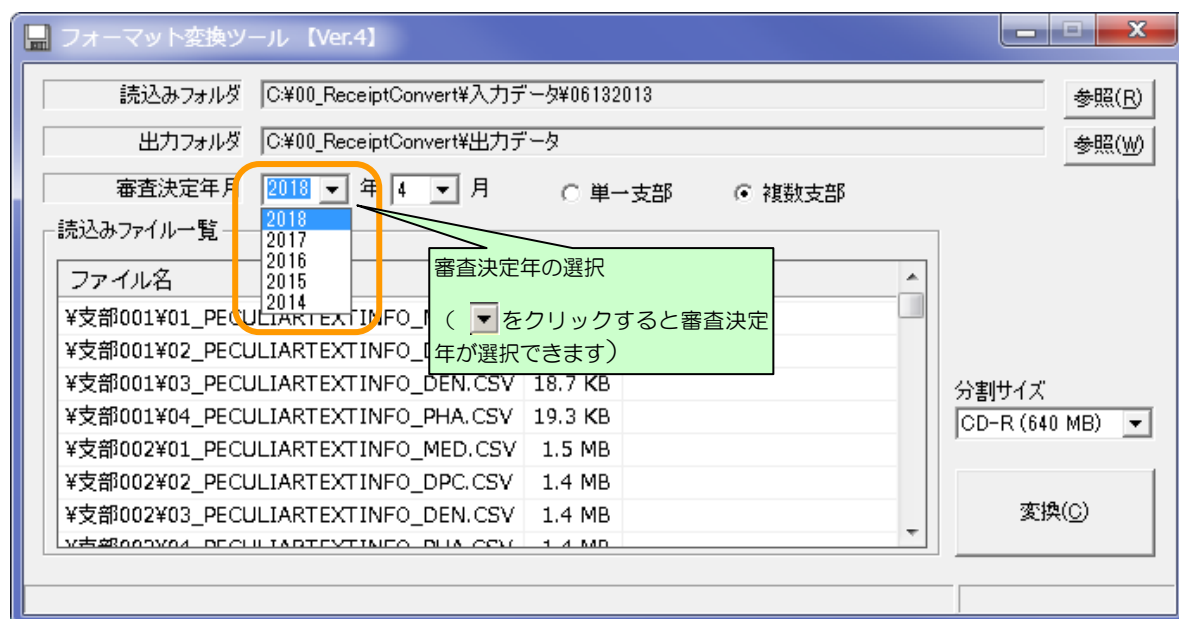
注意

※ 報告データを作成するフォルダは管理者権限を必要としないフォルダを選択して下さい
下記に示すフォルダを指定した場合、エラーメッセージが表示されます

1. Windows フォルダ
C:\WINDOWS
2. プログラムファイル フォルダ
C:\Program Files
3. アプリケーション フォルダ
C:\ProgramData

4-2-5 審査年月の選択

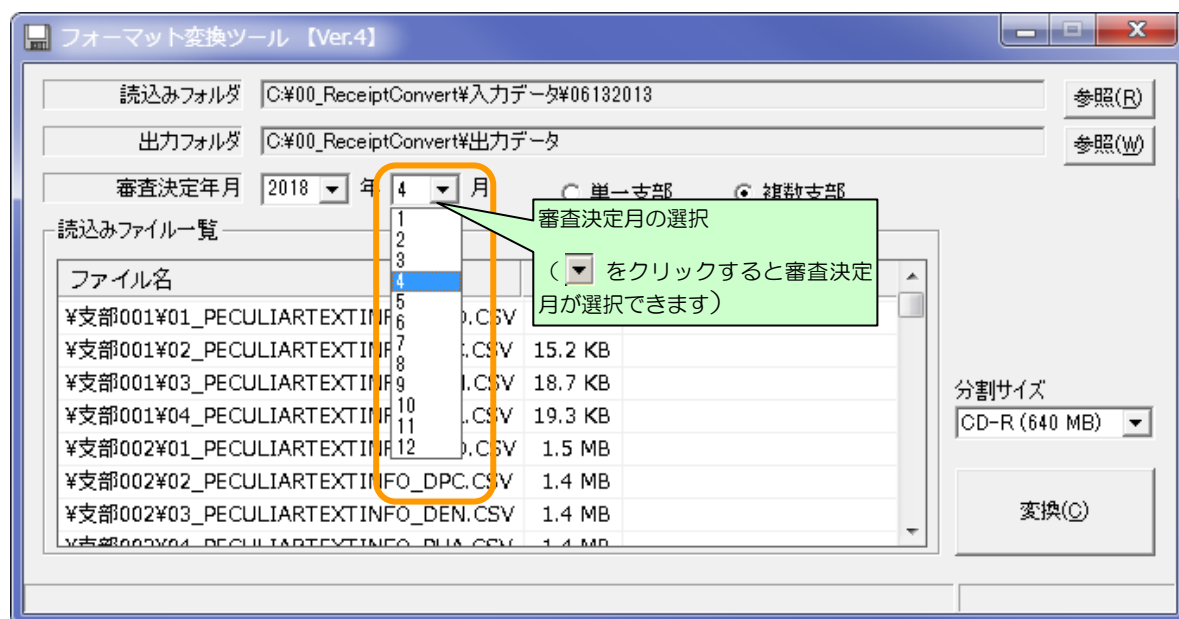
① 審査決定年を選択して下さい。



補足

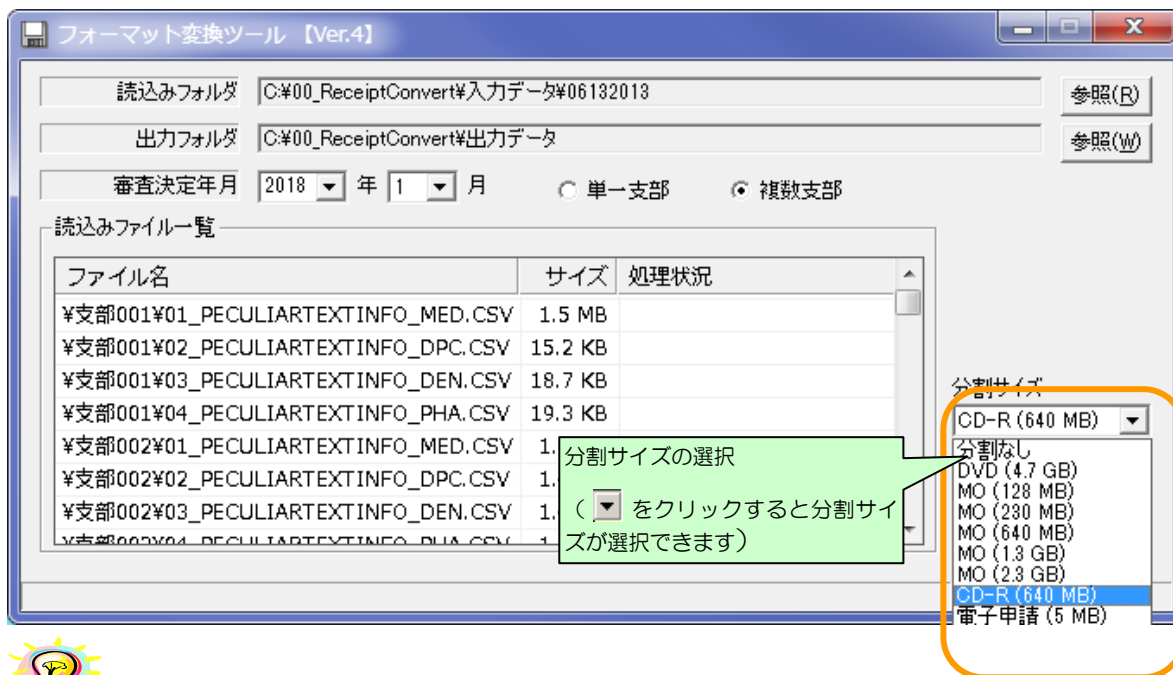
- ※ 審査決定年はプルダウンからの選択以外に、直接入力することも可能です
(半角数値以外を入力すると「変換(C)」ボタン押下時エラーメッセージが表示されます)
- ※ 入力する審査決定年月は「処理年月」とのチェック(審査決定年月と処理年月が一致すること)に用いています(一致しない場合はエラー一覧ファイルに記録されます)

② 審査決定月を選択して下さい。



4-2-6 分割サイズの選択

① 分割サイズを選択して下さい。



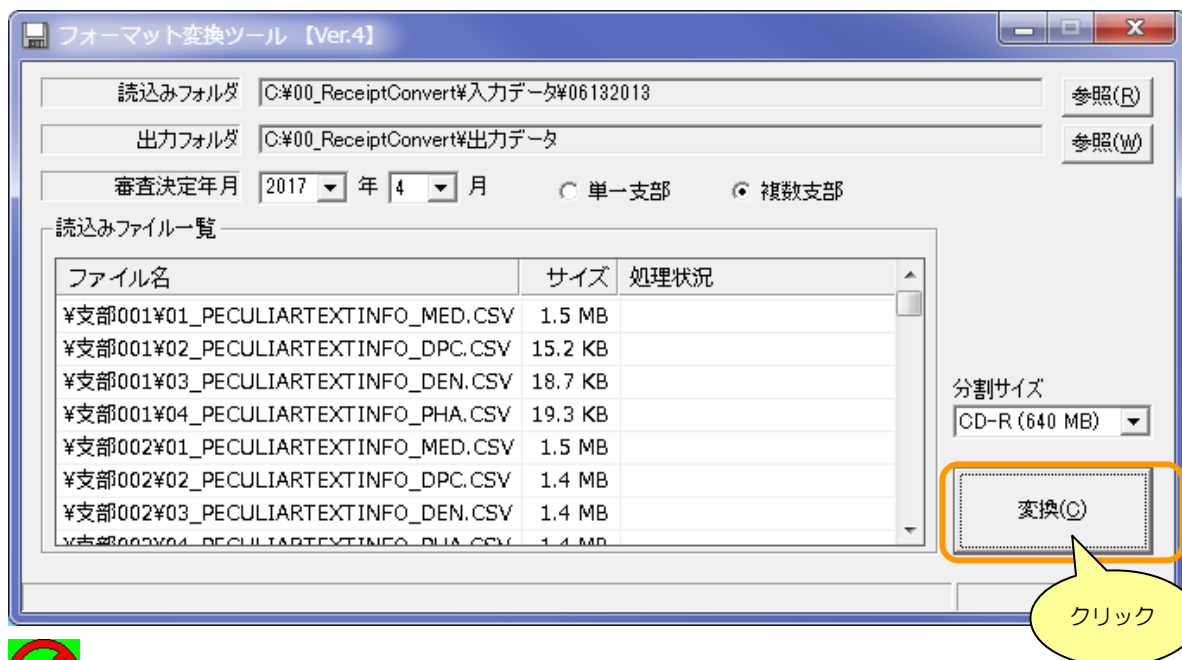
補足

- ※ 分割の目安ですが、1カ月に発生するレセプト（医科、DPC、歯科、調剤全て）が375万件に収まる場合CD1枚にて報告することができます

4-2-7 変換

① 「変換(C)」ボタンをクリックして下さい。

指定した読み込み（出力）フォルダ、選択（入力）した審査決定年月（数値チェック）に誤りがなければ、②にて示す「確認」画面が表示されます。



注意

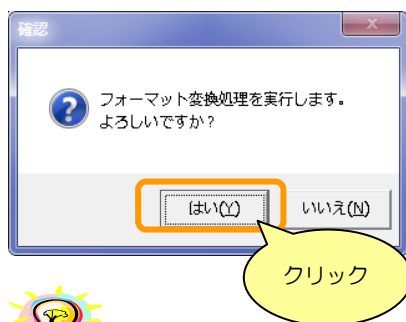
※ 「変換(C)」ボタン押下時、

- ① 読み込みフォルダが選択されていない
- ② 出力フォルダが選択されていない
- ③ 審査決定年に文字列が混在している

場合、エラーメッセージが表示されます。

各々のメッセージに従い、正しいフォルダの指定、年月の設定をお願いします。

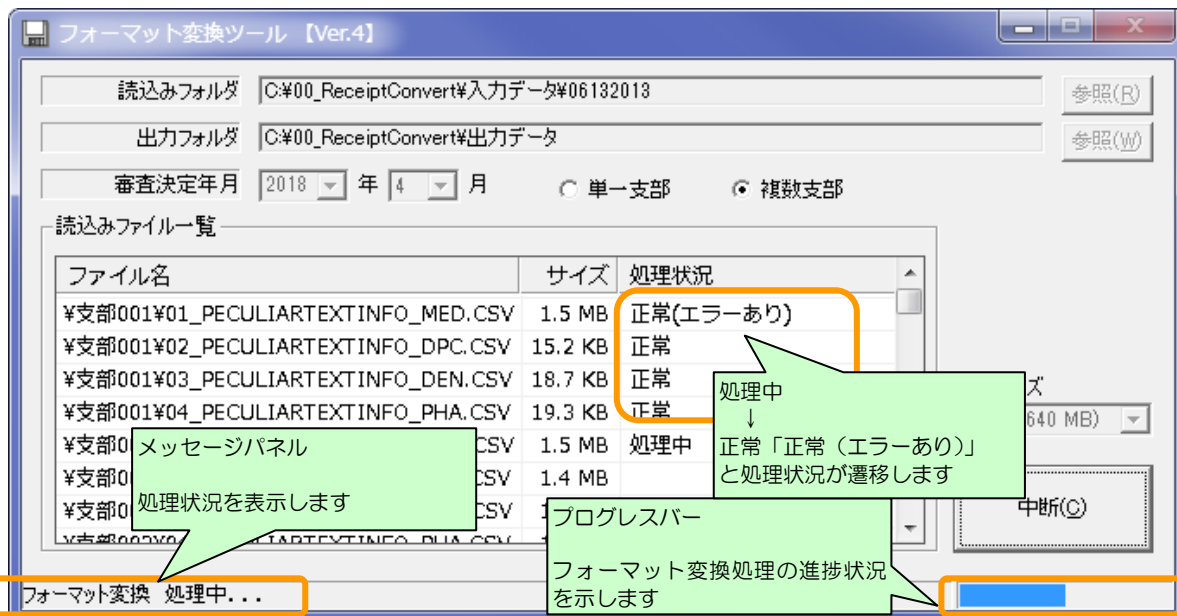
② 「はい(Y)」をクリックして下さい。



補足

※ 「いいえ(N)」ボタンをクリックすると、「フォーマット変換ツール」画面に戻ります

③ 「読み込みファイル一覧」に表示されている先頭のファイルから処理が実施されます。

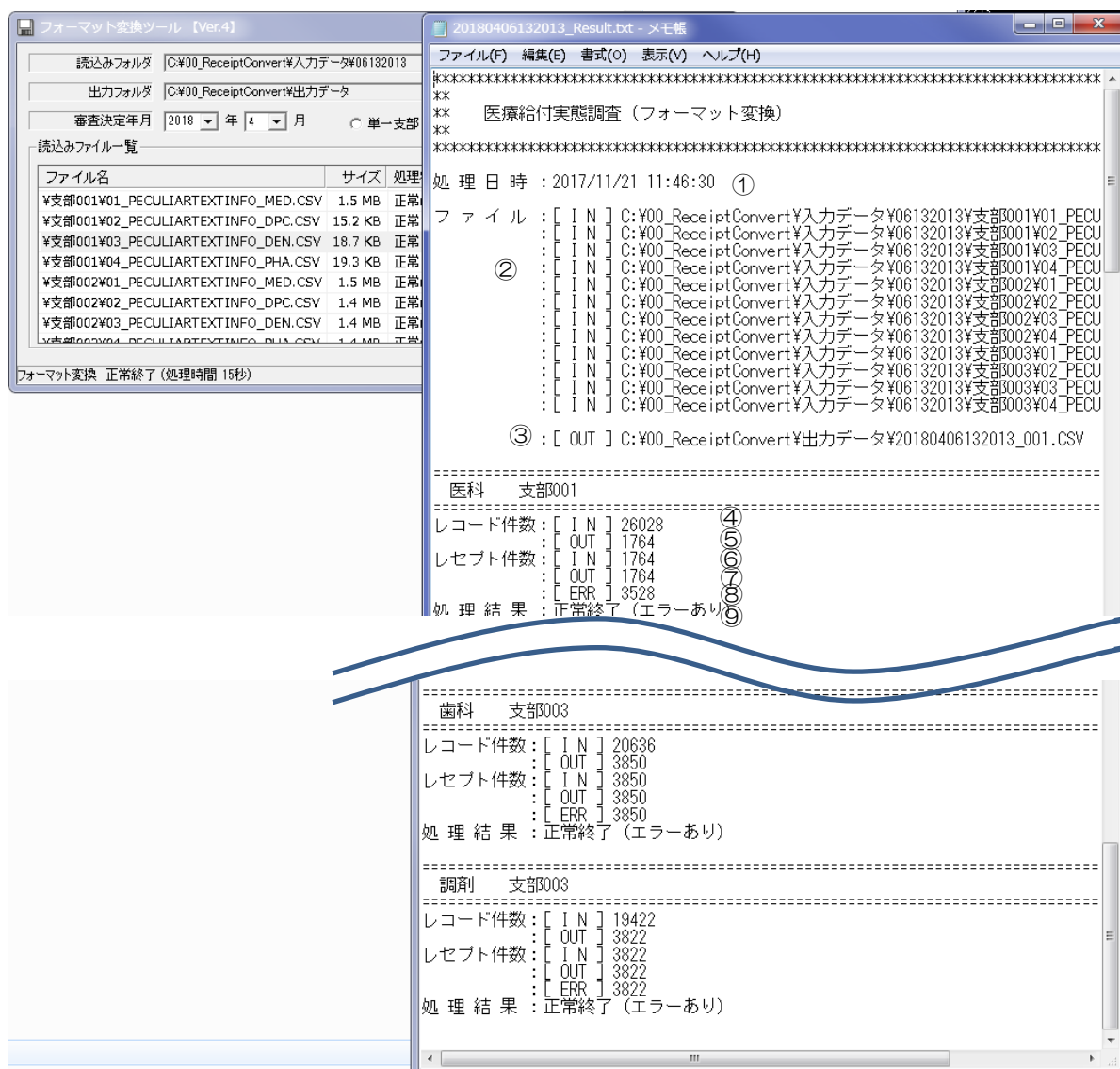


補足

- ※ 処理状況にて「正常（エラーあり）」と表示された場合は、参考情報「エラーチェッカー一覧」にて示す何れかのエラーが発生しておりますので、エラー一覧ファイルをご確認下さい
- ※ エラー一覧ファイルの格納場所は 4-2-8 にて示します
- ※ 処理状況のメッセージとして「処理中」、「正常」、「正常（エラーあり）」以外に異常終了時の「異常」、中断処理時の「中断」、報告データサイズが0バイト時の「処理対象外」メッセージがあります
- ※ 固有テキスト情報ファイルを医科、DPC、歯科、調剤と全て選択して「報告データ」を作成しても1ファイルにて作成されます（各々のファイル毎には作成されません）但し、分割を指定した場合は、指定した容量にて複数ファイルが作成されます
- ※ 複数支部を選択し、代表の保険者に対し変換処理を行った場合、代表の保険者として1ファイルで作成されます。但し、分割を指定した場合は、指定した容量にて複数ファイルが作成されます

④ フォーマット変換処理が完了すると、処理結果ファイルが出力されます。

▼



【処理結果ファイル名】

□□□□ △△ ○○ ×× ■■■■■_Result.txt

審査決定年 月 法別 府県 保険者番号

【項目説明】

番号	項目名	項目説明
①	処理日時	処理を開始した日時が表示されます
②	ファイル[IN]	固有テキスト情報ファイルが格納されているパスが表示されます
③	ファイル[OUT]	報告データが格納されているパスが表示されます
④	レコード件数[IN]	医科、DPC、歯科、調剤ごとの固有テキスト情報ファイルのレコード件数が表示されます
⑤	レコード件数[OUT]	医科、DPC、歯科、調剤ごとの報告データのレコード件数が表示されます
⑥	レセプト件数[IN]	医科、DPC、歯科、調剤ごとの固有テキスト情報ファイルのレセプト件数が表示されます
⑦	レセプト件数[OUT]	医科、DPC、歯科、調剤ごとの報告データのレセプト件数が表示されます
⑧	レセプト件数[ERR]	エラーチェックにて発生したエラー件数が表示されます
⑨	処理結果	正常終了（エラーなし） 正常終了（エラーあり）※エラー一覧ファイルが生成されます（補足ご参照）



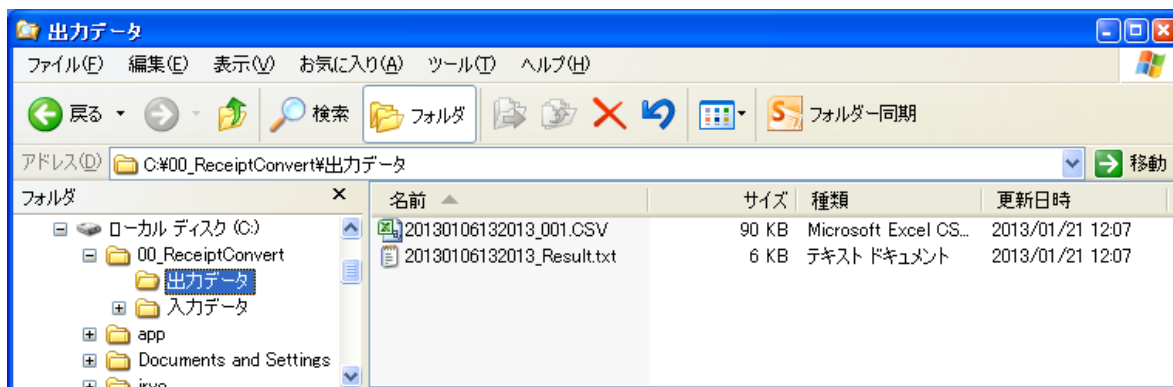
補足

- ※ 処理結果ファイルの格納場所は 4-2-8 にて示します
- ※ エラー一覧ファイルの格納場所は 4-2-8 にて示します
- ※ ④～⑨は支部毎に出力されます

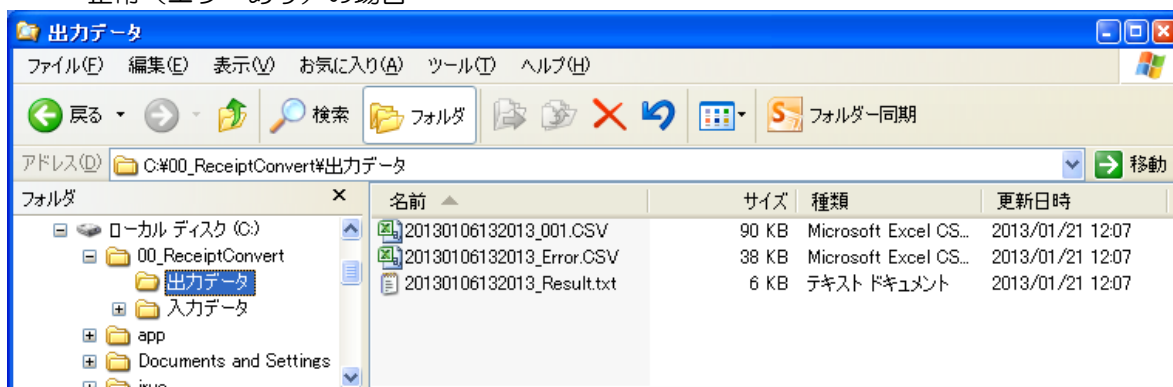
4-2-8 報告データ、処理結果、エラー一覧ファイル

報告データ、処理結果ファイル、エラー一覧ファイル（エラー発生時作成されるファイル）は出力フォルダにて指定したフォルダ内に作成されます

- ・ 正常の場合



- ・ 正常（エラーあり）の場合



【報告データファイル名】

□□□□ △△ ○○ ×× ■■■■■_001.CSV
 審査決定年 月 法別 府県 保険者番号 連番（分割された場合連番が付与されます）

【エラー一覧ファイル名】

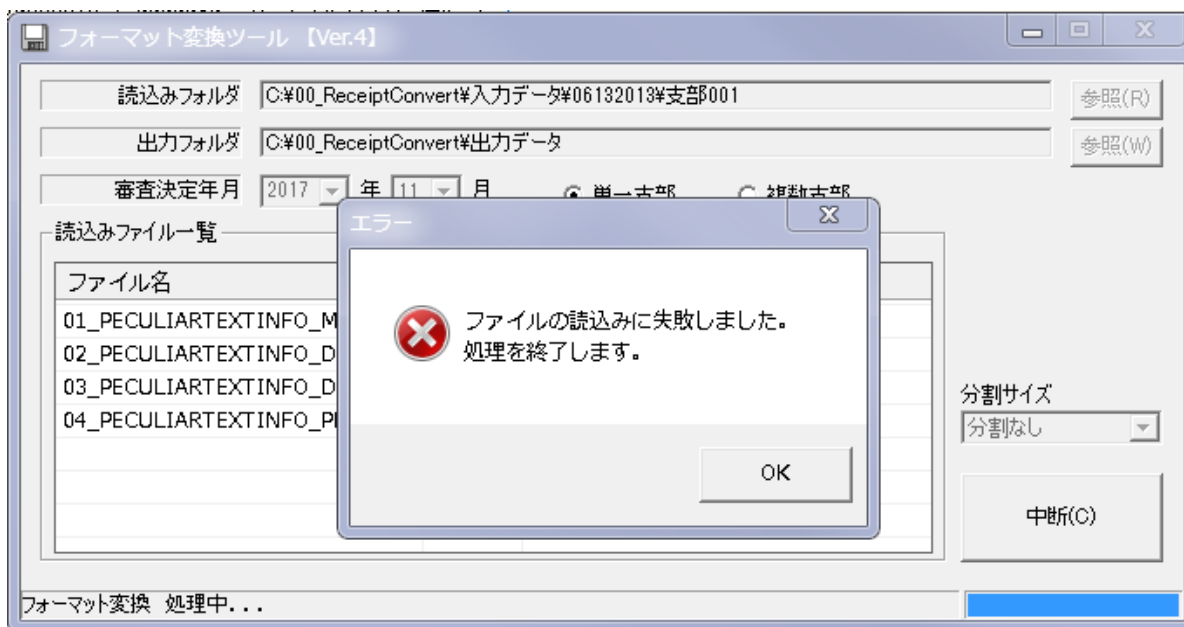
□□□□ △△ ○○ ×× ■■■■■_Error.CSV
 審査決定年 月 法別 府県 保険者番号

【処理結果ファイル名】

□□□□ △△ ○○ ×× ■■■■■_Result.txt
 審査決定年 月 法別 府県 保険者番号

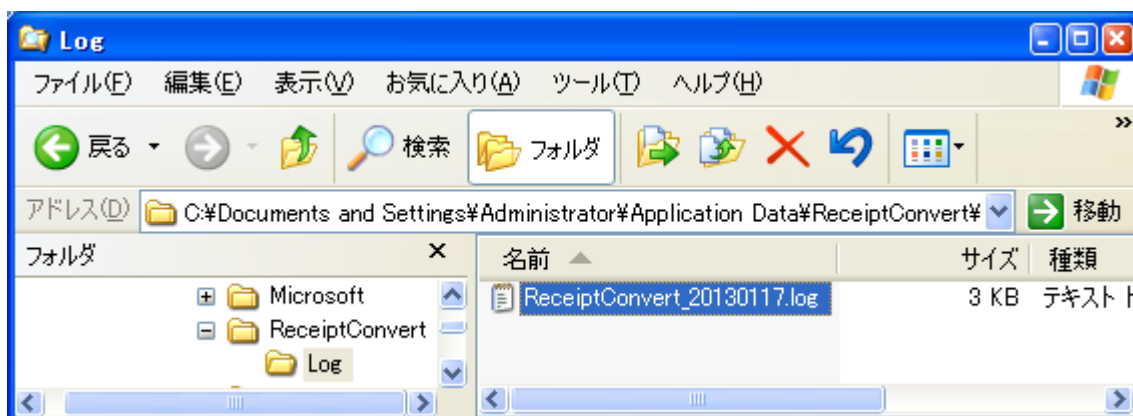
4-2-9 異常終了

異常終了（システムに起因するエラー[フォーマット変換ツールにてチェックするエラーとは異なります]が発生した場合は、下記に示す「Log」ファイル内の Log ファイルを確認して下さい。



【システムエラーログファイル格納場所】

C:\Users\¥[アカウント名]\¥AppData\¥Roaming\ReceiptConvert¥Log



【システムエラーログファイルファイル名】

ReceiptConvert_□□□□ △△ ○○.log
 処理年 月 日



補足

- ※ 同一日のログは一ファイルに纏めて記録されます
- ※ エラーが発生した際に参照するログファイルは10ファイルまで格納できます
(ログファイルが蓄積され11ファイル以上登録される場合、古いファイルから削除されます)

5 参考情報「エラーチェック一覧」

以下に「フォーマット変換ツール」にてチェックしているエラー一覧を掲載します

医療機関のコードチェック (都道府県)				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E01	医科 DPC 歯科 調剤	*01~*47*であること	都道府県番号が不正です (都道府県番号 [xx])	
医療機関のコードチェック (点数表)				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E02	医科 DPC 歯科 調剤	医科とDPCの場合は*1*、歯科の場合は*3*、調剤の場合は*4*であること	点数表が不正です (点数表 [x])	
処理年月のチェック				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E03	医科 DPC 歯科 調剤	画面で入力された審査決定年月とレセプト管理レコード (レコード識別情報"MM")の処理年月が一致すること	処理年月が不正です (処理年月[GYYMM]、審査決定年月[YYYYMM])	
保険者番号のチェック				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E04	医科 DPC 歯科 調剤	媒体情報ファイル (00_INFORMATION.CSV)の保険者番号と資格レコード (レコード識別情報"SA","SL","SR")の保険者番号が一致すること 但し、資格レコードの保険者番号が省略されている場合はチェックしない	保険者番号が不正です (媒体情報ファイル [xxxxxxx]、資格レコード [xxxxxxx])	
診療実日数のチェック				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E05	医科 DPC 歯科 調剤	診療実日数が診療年月から算出した日数以下であること	診療実日数が不正です (診療実日数 [xx]、診療年月 [GYYMM])	
本人家族入外の相関チェック (保険食事回数)				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E06	医科 DPC 歯科 調剤	本人・家族種別コードが*2*、*4*、*6*、*8*、*0*の場合、*0*であること	保険食事回数が不正です (保険食事回数 [xx]、入院外の場合は0回)	
本人家族入外の相関チェック (保険食事回数)				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E06	医科 DPC 歯科 調剤	本人・家族種別コードが*1*、*3*、*5*、*7*、*9*の場合、診療年月から算出した日数×3回以内であること	保険食事回数が不正です (保険食事回数 [xx]、診療年月[GYYMM]の日数×3回以内)	
本人家族入外の相関チェック (保険食事決定基準額)				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E07	医科 DPC 歯科 調剤	本人・家族種別コードが*2*、*4*、*6*、*8*、*0*の場合、*0*であること	保険食事決定基準額が不正です (保険食事決定基準額 [xxxxxx]、入院外の場合は0)	
性別のコードチェック				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E08	医科 DPC 歯科 調剤	*1*又は*2*であること	性別コードが不正です (性別コード [x])	
本人家族入外のコードチェック				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E10	医科 DPC 歯科 調剤	*1*、*2*、*3*、*4*、*5*、*6*、*7*、*8*、*9*、*0*であること	本人家族入外コードが不正です (本人家族入外コード [x])	
疾病コードのコードチェック				
エラーコード	対象	チェック内容	エラー一覧ファイル出力内容	
E11	医科 DPC 歯科 調剤	コード一覧表の疾病コードに合致すること	疾病コードが不正です (疾病コード [xxxx])	